

6月全校朝会 校長講話

「誰でもできること」

おはようございます。1学期も折り返し地点を過ぎました。体育大会が終わり、中間テストがあり、3年生は無事「修学旅行」に行ってきました。そして来週は生徒総会、6月19日からは部活動の学校総合大会と行事が目白押しです。でもいつも話しているように、学校生活は行事のない普段の日々が圧倒的に多いわけですから、先月の学校朝会でお話しした「凡事徹底・あたりまえ10か条」を意識して日々の生活を送ってほしいと思います。

さて今日は「誰でもできること」というお話をします。もう一回言いますね。「誰でもできること」です。実はこの言葉には続きがあります。それは何だと思いませんか。・・・「誰でもできることは、誰もやらない」ということです。

この間の生徒朝会で自治委員のみなさんが、6月の生活目標に絡めて発表してくれました。あの様子を見て今日の話を思いつきました。例えば床に落ちているごみを拾う場面をやっていましたね。私はよく授業中や休み時間に教室や廊下を回りますが、教室の床にはたくさんのゴミが落ちています。授業のプリントやティッシュ、ノートに貼ろうとして周りを切り落としたのでしょうか・・・プリントの切りくず、給食の後にはストローやストローの袋、・・・そのごみを落とした人はいるのですが、残念ながらごみに名前は書いてありません。床に落ちている時点で、誰でも拾うことが出来るはずなのですが・・・誰も拾わない。もう一度言います。「誰でもできること・・・は誰もやらない」

ここに1本のひもがあります。このひもの長さはある場所の幅と同じなのですが、どこだと思いませんか。

このひもの長さは一中の前の歩道の幅と同じです。この幅に2人とか3人の人が荷物を持って歩いているところを想像してください。どうですか。いっぱいいですよね。反対側、西高の歩道はもう少し広いですが、広がって歩けば道幅いっぱいになります。私は登下校するみなさんを見ていますが、みなさんが歩いていると前や後ろから人が歩いてきても、すれ違えなかったり、追い抜くこともできません。並んで歩くなとは言いませんが、誰かがちょっと気を使って道を譲れば、誰かが気がついてよければ、気持ちよく人が通行できるはずですが。でも自分たちの話に夢中で、誰も気にも留めない。よく学校には、近所の方からお叱りの電話やメールが入ります。道いっぱい広がって歩いている中学生が迷惑だ、注意をしたら逆ギレされてすごまれた・・・などなど。自分たちだけの道ではない、急いでいる人やジョギングをしている人もいるのは、誰でも知っているけれど・・・誰も気を使わない。

「誰でもできることは誰もやらない」・・・どうでしょう。これでいいと思いませんか。

私は、今の言葉に続く一言を考えました。「誰でもできることは誰もやらない・・・だとすれば、あなたがやるしかない」です。誰でもできることの誰かには、あなたが含まれています。床に落ちているごみに気付いて拾うことが出来る、誰もいない教室の電気や扇風機がつきっ放しになっていたら消す、登下校の時や外周を走っているときに周りの人に気配りが出来る、一言すみませんと言って道を譲る、お年寄りや困っている人がいたら声をかける・・・誰でもできることは、もしかしたらあなたにしかできないかもしれません。私はみなさんにそんな人になってほしいと願っています。「誰でもできることは誰もやらない・・・だとすれば、あなたがやるしかない」
終わります。